



幌東中学校



Thanks
Mail

(株)アレフ・びっくりドンキー白石中央店 様

先日は私たちのために貴重なお時間をさいて楽しくご指導いただき、本当にありがとうございました。とても良い経験をする事が出来ました。今回の職場体験を通して、私は仕事というのは一人で頑張るのではなく、仲間と協力することが必要で連携プレーがとても大切なものだ、ということ学びました。また、「食」という字は「人」を「良」くすると書くのでびっくりドンキーでは「人に良い」お食事を提供する、というお言葉は大変印象に残っています。

これからは、びっくりドンキーで学んだ仕事の大変さ、楽しさ、やりがい忘れずに充実した日々を過ごしていきたいです。 2年 A・M

菊水やよい児童会館



遊びが子どもの成長を助け、保護者を支えていることを知る

札幌市の児童会館は高校生までの子どもたちが自由に利用できます。「菊水やよい児童会館」では就学前の子どもと保護者が一緒に遊べる「子育てサロン」を実施しており、今回は2年生の男子3人・女子2人が保育の仕事体験しました。

サロンがオープンする10時半から保護者と子どもたちが続々到着。「妹がいるから慣れている」とすぐに子どもたちとおままごとを始める女子生徒や「おもちゃを作る仕事がしたいから、初めて見るおもちゃがあって面白い」と子どもの気持ちで楽しむ男子生徒に対して、「小さい子と接するのは初めて」という男子生徒は少々戸惑い気味。しかし「子どもは話しかけられて言葉を覚えるもの」と職員の方からアドバイスされ「会話にならなくても笑顔で声をかけることが大切なんです」と、次第に遊びの輪に溶け込んでいきました。児童福祉に興味があるという男子生徒は、ボールを転がす遊びですっ

かり子どもたちの人気者に。その間に保護者同士が交流を楽しんでいることを知り「子どもと遊ぶことで保護者の皆さんのお役にも立てるんですね」と、保育のもうひとつの意義にも気づいたようです。

午後からはイベントの装飾作りや小学生との交流も体験。保育士志望の女子生徒は「想像以上に業務が多くて大変な仕事。でも子どもたちの笑顔を見てやっぱり保育士になりたいと思いました」と、今回の体験をきっかけに夢への思いを新たにしていました。



高橋動物病院



命を守るためにメスを入れる 動物への思いやりと責任

開業40年の歴史があり、充実した設備を備えた「高橋動物病院」。犬・猫や小動物、鳥など幅広い動物の診療に対応し、多くの飼い主の信頼を集めています。今回訪れたのは2年生の女子4人。いずれも犬や猫と暮らす動物好きな生徒です。

午前中は施設や診察風景の見学、血液検査の手伝いのほか、ラブラドルレトリバーのシャンプーを行いました。4人とも大型犬を扱うのは初めてでしたが、人慣れた犬のおかげで作業はスムーズに進行。トリマーに興味があるという生徒は「今日のはうまくいったけど臆病な犬もいるはず。いろいろな動物との接し方を覚えたい」とさらに興味が湧いた様子でした。

午後からは2人1組で模擬手術に挑戦です。感染症を防ぐため、滅菌済みの手術着やマスクの扱いは慎重に行わなければなりません。今回の手術対象はなんと鶏肉。肉に鋭利なメスを入れ、針と糸で切開部分を縫い合わせ、鉗子を巧みに使って

糸を縛って完了です。鶏肉とはいえリアルな感触に怖がって作業が進まない2人でしたが「手術が長引いたり傷口がきちんと切開・縫合されていないと動物が苦しむ」と聞き、考え直したようです。獣医に憧れているという生徒は、お裁縫を思い出しながら縫合を終えると「手先の器用さも獣医の資質」とお褒めの言葉をいただき、目を輝かせていました。動物の命を守る厳しさに触れた経験は、ペットへの思いやりと責任を再認識するきっかけになったのではないのでしょうか。



(株)アレフ・びっくりドンキー白石中央店



おいしく食べて地球を守る 外食産業の見える努力に驚き

平成23年の春に国道12号線沿いにオープンした「びっくりドンキー白石中央店」。人気のハンバーグや店舗限定メニューを楽しみに来店される方で毎日賑わっています。今回お世話になったのは2年生の男子2人と女子3人。お店全体と運営元である(株)アレフについて説明を受け、さっそくホールでお客様への水出しや、食事が済んだテーブルを片付ける仕事に挑戦です。初めは恥ずかしがっていましたが、お店が混み始めるとそうも言っていられません。「お客様をスムーズに案内できるよう、こまめに片付けなくちゃ」と、自ら進んで動く姿も見え始め、初めて着る制服もちよびり板に付いてきたようです。

午後からは(株)アレフの企業活動に関する学習です。ナタネを栽培して食用油を自給し、調理済みの油やお客様から回収した廃食用油をバイオディーゼル燃料にリサイクルし、店内の生ごみも廃棄せず肥料にして野菜を育てるという独自の資源循環システムに一同びっくり。食の安全と環境保

全への徹底したこだわりを知り、「何気なく食べていたハンバーグが地球の未来とつながっているなんてすごい」「食を大切にできる会社の姿勢がきめ細かな接客サービスに現れるんですね」と感心しきり。店舗屋外の生ごみ粉碎乾燥処理機に生ごみを自分たちの手で投入し、「レストランの見える努力を知ると、もう食べ残しはできないね」「次に来るときは家の廃食用油を持ってこよう」とうなずき合っていました。環境を守るために、自分たちができる小さな一歩を学び取ったようです。

